

SRS-015 スマートライドモニターAIO-5 Play

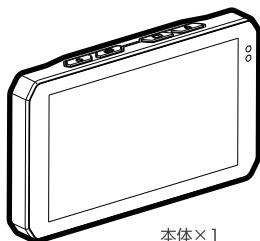
〈取扱説明書〉

- 本書は紛失しないよう大切に保管してください。
- 作業の際は純正サービスマニュアルを併せてご参照ください。
- 本製品の取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。モニターの取り付けを伴う作業を行う際は、必ず車両販売店や特定認定工場など、確かな知識と技術を持ったメカニックが行ってください。弊社ではお取り付け等の対応は行っておりません。
- 本書の表記内容（画面上のメニュー名表記など）はファームウェアのバージョンによって変更される場合がございます。

01 構成

本製品をご使用になる前に内容物が全て揃っているか確認してください。

■ 製品内容



本体×1

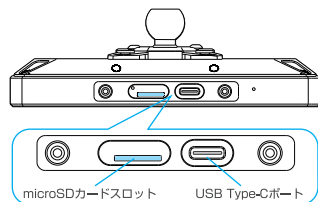
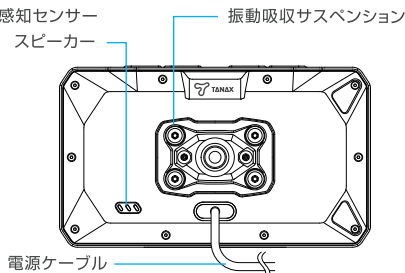
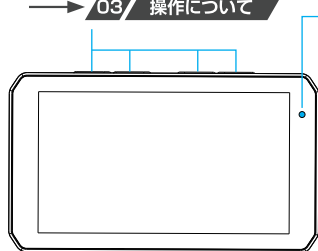
■ 付属品



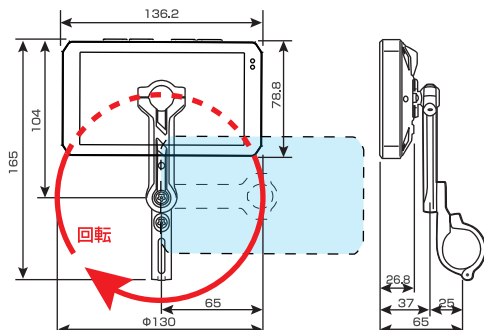
■ 各部名称

ホットキー(物理ボタン)

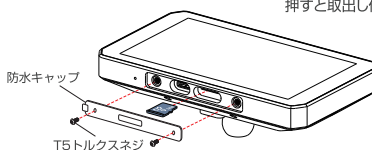
03 操作について



※USB-Type-Cポートは本製品では使用しません。
給電用でありませんのでモバイルバッテリーなどを接続しないでください。



● microSDカード取り出し方法

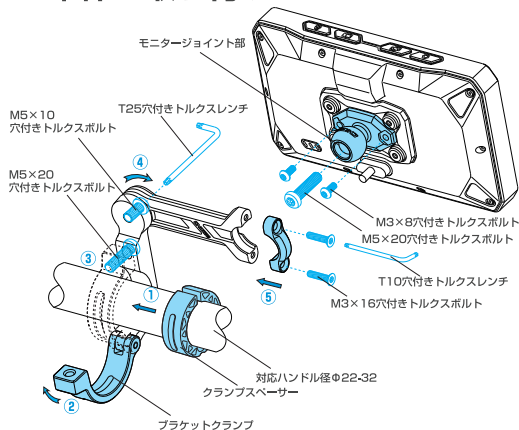


本体下部の防水キャップを外すと内部にmicroSDカードスロットがあります。挿入されているカードを押すと取出し位置まで出てきます。取り出しづらいう場合はピンセット等を使用してください。再度カードを挿入する際は一旦奥まで押し込むとロックされます。



防水キャップはT5トルクスネジで取り付けられています。必ず付属品のT5トルクスドライバーでネジを外してからキャップを外してください。また、本来の防水性能が発揮されない可能性がありますので、microSDカードの挿入・取出し後は防水キャップを本体にしっかり押し込んでください。

1. 本体の取り付け



本体を付属品の取り付けステーを使用して車体に取り付ける場合は、ハンドルバーに下記の要領で取り付けてください。

① 取り付けのハンドル径に対し適切なサイズのクランプスペーサーを取り付けます。



②③ 各種クランプスペーサーとブラケットクランプを挟み、付属のT25穴付きトルクスレンチでM5×20穴付きトルクスボルトを締め込みます。

④ 付属のT25穴付きトルクスレンチを使用し、ステーの角度を調整し、M5×20穴付きトルクスボルトを締め込みます。

⑤ 付属のT10穴付きトルクスレンチを使用し、ステーとモニタージョイント部をM3×16穴付きトルクスボルトで締め込み、角度を調整しながら固定します。

付属の取り付けステーで取り付けができない場合は別売りオプションのマウントステーをご検討ください。

09 別売りオプション

2. 配線

本製品は駆動方式を車載バッテリー給電、またはUSB給電から選べます。

■ USB電源を使用する場合

(モバイルバッテリーや車載USBソケットなど)

- ① 付属のUSBケーブルと本機のケーブルのコネクタを接続します。
- ② USBケーブルを電源のUSBソケットに接続します。

USB給電時のシャットダウン方法

ホットキーのロックボタンを4秒長押ししてください。

注意

- USBケーブルの端子部は防水仕様ではございませんのでご注意ください。USBケーブル差込部からの水の浸入に起因する故障や不具合に関する保証はできませんのでご了承ください。
- 車両に設置したUSBソケットを利用する場合、給電のON/OFFが車両のキーに連動していない場合がございます。バッテリー上がり避けるためにも、使用後は必ず本機上面のホットキー(物理ボタン)のロックボタンを長押ししてシャットダウンしてください。●シャットダウンを行わずにソケットからUSBケーブルを抜くことは故障の原因となりますので避けください。

■ 12V車載バッテリーを使用する場合

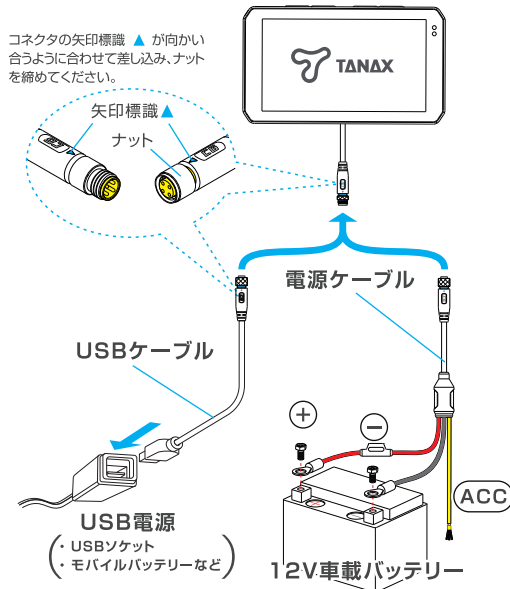
- ① 付属の電源ケーブルを以下の順番で車載バッテリーに接続します。
 1. 赤い線をバッテリーの+に接続します。
 2. 黒い線をバッテリーの-に接続します。
 3. 黄色い線をACCに接続します。
- ② 電源ケーブルと本機のケーブルのコネクタを接続します。

車載バッテリー給電時のシャットダウン方法

車両の電源をOFFにしてください。

注意

- 取り付け作業前に必ずバッテリーのマイナス端子(マイナスターミナル)を外してください。結線中にショートすることがあり、感電や車両火災の原因になります。●ACCは必ず車両の電源がONの時は常時電流が流れている箇所に確実に接続してください。●本製品の消費電力は7.2W(12Vの場合)です。挙動が不安定になる場合があるので、他のアクセサリや車両の発電容量に注意してください。

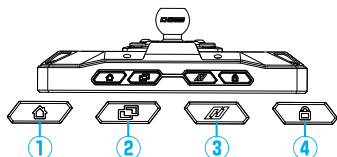


本機を取り付けた後の初回起動時はアクティベーション(初回起動手順)が必要です。詳しくは別紙「クイックスタートガイド」を参照してください。

03 操作について

本機上面の物理ボタンまたはホーム画面上の項目欄をタップすることで操作画面を切り替えられます。

ホットキー(物理ボタン)



① ホームボタン
ホーム画面に切り替わります。

② リンクボタン
1回押すと無線リンク画面※1に切り替わります。

→ **04/ 無線リンク**

もう1回押すとプロメーター画面に切り替わります。

→ **05/ プロメーター**

③ スクリーンボタン
画面表示をOFFにします。

④ ロックボタン

1回押す：画面をロック/ロック解除

4秒長押し※2：USB給電時の電源OFF
(シャットダウン)
USB給電時の電源ON

6秒以上長押し※3：本体を再起動

※1 リンクしたApple CarPlay / AndroidAutoの画面

※2 走行結果画面に切り替わったら指を離してください。

USB給電時は必ず本手順でシャットダウンをしてください。

※3 画面表示が消えるまで長押ししてください

操作画面



① リンク
無線リンク画面に切り替わります。
→ **04/ 無線リンク**

② メーター
プロメーター画面に切り替わります。
→ **05/ プロメーター**

③ 設定
システム設定画面に切り替わります。
→ **06/ システム設定**

④ 速度計※1
時速の表示

※1 GPSの位置情報からの速度計測のため、実際の走行速度と若干の誤差があります。

※2 走行速度10km/h以上かつ測位衛星数が5個以上の条件で更新されます。

※3 別売りオプション品(SRS-002 空気圧センサー 前後入り)を装着後に表示されます。

⑤ トリップメーター
走行距離と走行時間の表示

⑥ DFSマーク
屋外モードW56使用時のDFS機能の作動状況の表示。電波干渉チェック時に点滅します。

→ **08/ チャンネルの切り替え**

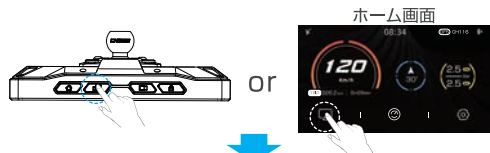
⑦ コンパス※2
進行方向の表示

⑧ タイヤ空気圧※3
(別売り・オプション)

04 無線リンク

本機上面のリンクボタンを押すか、ホーム画面の「リンク」をタップすると無線リンク画面に切り替わります。

本画面ではスマートフォンとの無線接続を行い、接続後はリンクしたスマートフォン内のアプリを表示させることができます。(画面表示の内容や使用できるアプリは、Apple CarPlayやAndroid Autoの仕様に依存するため、スマートフォンのアプリが全て表示される訳ではありません。) また、接続設定画面から無線リンクに使用するWi-Fiの帯域の選択やペアリング設定の削除等ができます。



① 接続デバイス選択ウィンドウ

ウィンドウをタップするとApple CarPlay、Android Autoの選択肢が表示されます。接続するスマートフォンのOSがiOSであればApple CarPlayを、AndroidであればAndroid Autoを選択します。

② 接続設定アイコン

スマートフォンとの接続前に無線リンクに使用するWi-Fiの帯域の選択(5GHz帯もしくは2.4GHz帯)や画面リフレッシュレートの切り替え、ペアリング設定の削除等ができます。

③ ヘルプマーク

タップするとそれぞれのモードに合わせた接続方法の補足説明が表示されます。



スマートフォンを無線接続する手順

手順1.接続するデバイスの種類を選択します。

接続デバイス選択ウィンドウをタップすると、下記の選択肢が表示されます。接続したいスマートフォンの種類に合わせて接続デバイスを選択してください。

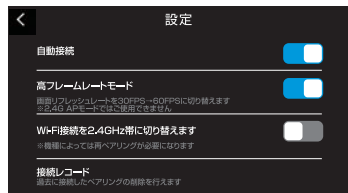
	iOSスマートフォンをBluetooth(CHIGEE-XXXX)に接続してApple CarPlayを有効にします。 デバイス使用条件：iPhone 6s / iOS 13以上
	AndroidスマートフォンをBluetooth(CHIGEE-XXXX)に接続してAndroid Autoを有効にします。 デバイス使用条件：Android 11以上

※ xxxxは個別の4桁番号です

手順2.接続設定を行います。

手順3に進む前に接続設定アイコンをタップすると、接続設定画面に切り替わります。

※本手順は飛ばしても問題ありません。その場合は画面リフレッシュレート30FPS/5GHzの接続設定になります。



■ 自動接続

本機を次回使用する際に、一度接続したことのあるスマートフォンを自動接続する機能のオン/オフ切り替え。

■ 高フレームレートモード

画面リフレッシュレートを30FPS→60FPSに切り替えられます。FPSが上がるほどカクつきがなく滑らかな画面描画になります。

※2.4GHz帯使用時は使用できません。

■ 2.4GHzモード

データ通信に使用するWi-Fi接続帯域を、通常の5GHzから2.4GHz帯に切り替えることができます。

2.4GHzモードの特徴と注意点

- ・DFSがオフになり、接続待機時間がなくなります。
- ・遮蔽物に強いので、5GHzモードでスマートフォンをシートバッグ等にしまうと接続が繋がりにくくなったり切れてしまう事象が改善されます。
- ・Android Autoは2.4GHz帯での接続が正式サポートされていません。
- ・5GHz帯で使用可能な高フレームレートモードが使用できません。
- ・機種によっては再ペアリングが必要になります。

■ 接続レコード

過去に接続したペアリング設定を選択し削除できます。

ワンポイントアドバイス

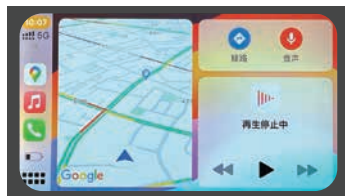
再ペアリングを行う場合は、本機の接続レコード欄のペアリング設定を削除し、スマートフォン側のBluetooth接続設定も削除してから再度ペアリングを行ってください。

手順3.スマートフォンとペアリングを行います。



手順1で接続デバイスを選択すると、本機画面に青字で「携帯電話でBluetoothデバイス「CHIGEE-XXXX」(xxxxは個別の4桁番号)とペアリングしてください。」と表示されます。スマートフォンのBluetoothの接続先にCHIGEE-XXXXを選びペアリングを行ってください。

手順4.画面が切り替われば接続完了。



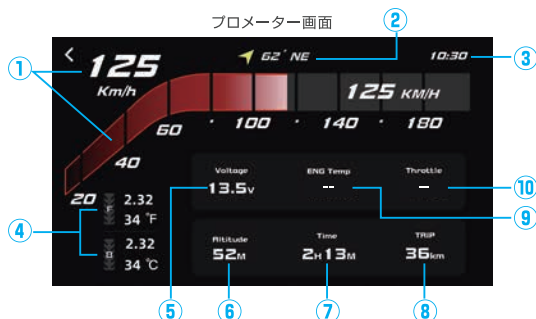
ペアリングが完了し、本機の画面表示がスマートフォンの画面とリンクした表示に切り替われば接続完了です。

ワンポイントアドバイス

スマートフォンとの接続を切りたい場合はスマートフォン側でBluetoothとWi-Fiをオフにしてください。

05 プロメーター

ホーム画面の「メーター」をタップするとプロメーター画面に切り替わります。



① GPS速度計※1

② コンパス

③ 時計

④ タイヤ空気圧・温度※2

⑤ 電圧※3

⑥ 標高

⑦ 稼働時間

⑧ 走行距離

⑨ 非対応※4

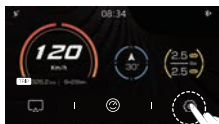
⑩ 非対応※4

※1 GPSの位置情報からの速度計測のため、実際の走行速度と若干の誤差があります。
 ※2 別売りオプション品(SRS-002 空気圧センサー 前後入り)を装着後に表示されます。
 ※3 電圧は電源ケーブルによる車載バッテリーからの給電時のみ表示されます。
 USB給電時は"USB"と表示されます。
 ※4 本機には非対応のデバイスからの表示項目であるため表示されません。

06 システム設定

ホーム画面の「設定」をタップするとシステム設定に入ります。

ホーム画面



システム設定画面



■ 画面

画面の明るさ調整、自動調光のオン/オフの切り替えとホーム画面背景の選択ができます。

■ ストレージ

eMMCストレージとmicroSDカードの残容量の確認やフォーマット作業ができます。

■ オプション

別売りオプションの空気圧センサーやリモコンのペアリングとGPSの状況確認、振動アラーム速度表示単位の切り替え、WiFiチャンネルの切り替えなどの設定ができます。

■ 言語

言語を設定できます。

■ 日時

日付と時間を設定できます。日時の表示形式やタイムゾーンの設定もできます。

■ リセット

工場出荷時の設定に戻します。

■ 更新

ファームウェアアップデートの有無の確認や、更新ファームウェアデータのダウンロードとアップデートを行う事ができます。

→ 10/ メンテナンス

■ About

型番、名称、ファームウェアのバージョン、SNコード、法律と規制情報といったデバイス情報を確認できます。

07 オプション

システム設定画面の「オプション」をタップすると各デバイス設定ができる画面に入ります。

システム設定画面



オプション画面



■ 空気圧

SRS-002 タイヤ空気圧センサー（オプション・別売）との接続した表示単位の切り替えを行う事ができます。また、低圧警報値と高圧警報値の変更もできます。

■ リモコン

SRS-006 プロワイヤレスリモコン（オプション・別売）とのペアリングやバッテリー残量の確認などを行う事ができます。

■ GPS

電波強度、衛星数、速度、経緯度の確認ができます。

■ 振動アラーム

停車時に振動を感じた時のアラーム機能のON/OFFと検知感度の設定ができます。

■ More

速度表示単位(Km・Mile)の切り替えを行う事ができます。

■ チャンネル切り替え

スマートフォンとのWi-Fi接続帯域(チャンネル)の切り替えを行う事ができます。一部チャンネル切り替え時に再起動を行います。

→ 08/ チャンネルの切り替え



●GPSアンテナは本体に内蔵されています。設置箇所によっては電波受信に時間がかかる場合がございますので、設置後はしばらく様子を見てください。

08 チャンネル切り替え

スマートフォンとのWi-Fi接続帯域を状況に応じて切り替える※ことでより快適に使用できます。

各チャンネルの特徴と注意点

■ W56 (DFS)

- DFS機能により、レーダー検知時も途切れることなく通信が可能。
- 2.4GHz帯に比べ通信速度が速い。
- 屋内外で使用可能。
- △ DFS機能の電波干渉チェックのため、接続時に約1分の待機時間が必要。

オートバイでの使用・屋内外での使用に適しています

■ W52

- DFSを使用しないので接続時に待機時間が不要。
- 2.4GHz帯に比べ通信速度が速い。
- △ 屋内のみ使用可能。オートバイでの使用は不可。



● W52は屋内のみ使用可能な帯域です。オートバイでの走行を含む屋外でのご使用はご遠慮ください。

屋内でのファームウェアアップデート
自動車車内で使用に適しています

※一部チャンネル切り替え時に再起動を行います。
電波の適正使用にご理解とご協力をお願い申し上げます。

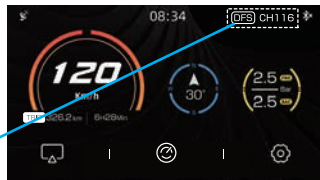
■ 2.4GHz

- 遮蔽物に強くスマートフォンと接続しやすい。
- DFSを使用しないので接続時に待機時間が不要。
- 屋内外で使用可能。
- △ 5GHz帯に比べ通信速度が遅い。
- × Android Autoは2.4GHz帯を正式サポートしていない。

5GHz帯(W56(DFS)、W52)での接続がしにくい場合や、スマートフォンをシートバッグ等に収納している場合に適しています

■ DFSについて

- W56使用時に働くDFSとは気象レーダーや航空機レーダー等のレーダー波との干渉を防ぐ機能で、データ通信前に約1分間の電波干渉チェックが行われます。
- 使用中にレーダー波を検知した場合はDFS機能によりデータ通信が停止され通信チャンネルの変更を自動で行い再度1分間の帯域確認が発生いたします。
- W56使用時は画面右上に使用チャンネルと一緒にDFSマーク **DFS** が表示されます。オートバイ乗車時はDFSマークが表示されているかの確認をお奨めします。



09 別売りオプション

オプションのご利用により本製品をより便利にご使用いただけます。

■ SRS-002 空気圧センサー 前後入り



タイヤバルブに装着するだけの簡単取り付け。本体とリンクする事でタイヤ空気圧やタイヤ温度がリアルタイムにモニターへ表示されるので安全走行に役立ちます。

■ SRS-006 プロワイヤレスリモコン



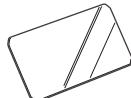
ハンドルから手を離すことなく、手元で通話対応やアプリの切り替え、画面の切り替え操作ができます。内蔵バッテリーにUSB Type-Cポートからモバイルバッテリー等で充電できる仕様です。取り付けに必要なステー付属。

■ SRS-003 ステムホールマウント



セパレートハンドル車などのステムホールにモニターを取り付けられるマウント。
(Φ12mm～Φ29mm対応)

■ SRS-007 液晶保護ガラスフィルム



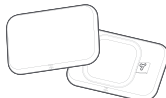
細かいキズから液晶画面を保護する硬度9Hの専用ガラスフィルム。

■ SRS-004 マウントブラケット



Φ12mm～Φ16mmの水平バーにモニターを取り付けられるマウント。

■ SRS-011 ネオブレンポケットブルカバー



停車時の傷つき防止と防犯効果を高められるウェットスーツ素材の伸縮性のあるソフトカバー。コンパクトに折りたたため持ち運びに便利。

■ SRS-005 ハンドルミラーマウント



10mmネジのハンドルミラー取り付け部に共締めで使用するマウント。付属のワッシャーを使用する事で8mmネジのミラーにも対応します。

■ SRS-016 シリコンスマートカバー



停車時の傷つき防止と防犯効果を高められるシリコン製カバー。スマートライドモニターにぴったりフィットする専用設計で着脱も簡単。

10 メンテナンス

本製品を快適にご使用いただけるよう、下記メンテナンスを定期的に行ってください。

■ 製品本体のお手入れ

スマートライドモニターを使用中に砂や泥等が詰まる可能性がありますので、定期的に水で洗浄し拭き取ってください。液晶画面は糸くずの出ない柔らかい布(液晶画面専用のクリーニングクロスやメガネ拭き)で、やさしく拭いてください。



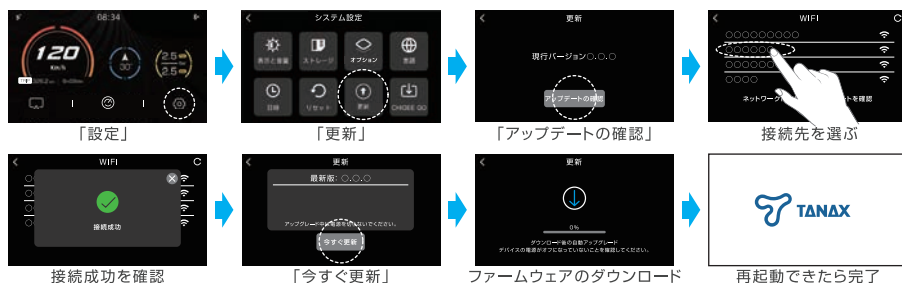
- ベンジン、シンナー、ガソリン等の有機溶剤の使用は本体の腐食、防水性能の劣化を引き起こす可能性がありますので、お避ください。
- アルコールやエタノール、研磨剤、界面活性剤といったものが含まれるウェットティッシュは、耐指紋コートといったスマホ表面のコーティングを剥がしてガラス表面を劣化させたり、ゴムやプラスチックといったパーツを傷めたり、外装の印刷を消してしまう危険がありますので、お避ください。
- 高圧洗浄機のご使用はお避ください。

■ ファームウェアのアップデート

ファームウェアアップデートとは、コンピュータや電子機器の基本的な制御を行うためのソフトウェアを更新することです。本製品は機能性の向上や不具合解消のため、予告なくファームウェアを更新する場合がございます。

アップデートの手順

- アップデートにはmicroSDカードが必要です。(「設定」→「ストレージ」でSDカードが挿入されていることを確認してください。)
- 本作業はWi-Fi環境下、もしくはスマートフォンのテザリング機能(インターネット共有機能)使用下で行ってください。(テザリング機能の使用方法は各スマートフォン端末の設定を確認してください。)



ワンポイントアドバイス

- 目的の接続先が見つからない場合は画面上右の更新マーク をタップし、接続先リストを更新してください。
- 通信環境により接続が安定しない場合があります。その際は別の接続先を選んでもう1度始めから行ってください。
- 屋内でアップデートを行う場合は、Wi-Fi接続チャンネルをW52に切り替えると接続しやすくなります。
- アップデートに失敗した場合はSDカードをフォーマットするか、SDカードを新しいものと交換してください。
- 付属のmicroSDカードを紛失した場合はU1(UHSスピード規格クラス1) / 8GB以上のものをご使用ください。
- 最新ファームウェアの更新情報は弊社ウェブサイトでもご確認いただけます。

11 製品仕様

品番 / 品名	SRS-015 スマートライドモニターAIO-5 Play		対応車両電源	12V~18V	
本体寸法 / 重量	136.2×78.8×26.8mm / 276g ※取り付けジョイントベース含む		搭載センサー	GPSセンサー / ジャイロセンサー / Gセンサー	
ケーブル長	駆動方式を車載バッテリー給電、またはUSB給電から選べます。 電源ケーブル(+/-/ACC) 225cm 本体 — 電源 + 41cm USB TypeAケーブル 35.5cm		HUD	速度 / 時間 / 方向	
	※ケーブル付版から接続端子先端までの計測値		衛星測位システム	GPS/QZSS	
ディスプレイ	サイズ	5.0インチ		内蔵ストレージ	外部ストレージ
	液晶仕様	IPSタッチパネル / 輝度 : 1000Nit		8GB(eMMC)	microSDカードスロット ファームウェアアップデートに必要なmicroSDカード : U1(UHSスピード規格クラス1)/8GB以上
	解像度	HD(1280x720p)		動作温度	
防水仕様	IP68		Bluetooth規格	5.0	
動作電圧/電流	<バッテリー給電時> 動作電圧 : 12-18V 動作電流 : 0.6A		Wi-Fi規格	IEEE 802.11n/ac (※Apple CarPlay、Android Autoとの通信は) 5GHz帯(屋外) : W56(DFS機能搭載) 5GHz帯(屋内) : W52 2.4GHz(屋内・屋外)を使用	
電源周波数	50Hz/60Hz		システム要件	Apple CarPlay : iPhone 6s 以上 / iOS 13以上 Android Auto : Android 11以上	

※日本の電波法に基づいた仕様となりますので、海外への持ち込みはできません。※ファームウェアの更新により各数値が変更される場合がございますので、予めご了承ください。

保証について

一部例外を除き、ご購入日から12カ月以内に製品の不具合が認められた場合、無償にて修理いたします。

(修理が困難な場合には同品との交換を検討いたします。)

往復送料は弊社にて負担いたします。(着払いにて弊社宛にお送りください)

保証適用のためにご購入の履歴がわかる書類(注文確定メールや納品書、又はレシート等のコピー)を確認させていただきます。

ご購入の履歴がわかる書類のご提示がない場合や、正規販売店以外でご購入された場合は保証対象外となります。

またお住まいの地域によっては制約事項および例外事項が適用されることがありますので、ご了承ください。

保証期間中でも、保証対象外の場合は有償修理になります。

【保証対象外となる場合】

- 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷
- 落下、転倒事故、輸送等による故障および損傷
- 火災、地震等の天変地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障及び損傷
- オートバイ以外に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷
- 購入証明のご用意が出来ない場合、またお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の確認ができない場合や改ざん等の不正が認められる場合
- その他、製品の誤用や不当な扱いによる損傷、表面的な損傷、機会損失等の費用などの付随的または必然的な損害

⚠ 取り付けの注意

●法令を守りお取り付けください。●作業の際は純正サービスマニュアルを併せてご参照ください。●本製品の取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技術や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験のない方、工具等の準備が不十分な方は必ず技術的信用のある専門店またはお買い上げの販売店等にご相談ください。●本製品は汎用品です。取り付け出来ない車両や電装機器があります。予め弊社では取り付けの電装機器の保証、説明は致しかねますので、ご了承ください。●重大な事故につながる可能性がありますので、走行前に配線の取り回し、各部品の固定に異常がないことを確認してください。また定期的に同様の点検を行ってください。●取り付け作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(車両が転倒し怪我する恐れがあります。)●配線は、極性を確認後にプラス→マイナスの順で接続し、マイナス→プラスの順に取り外してください。●取り付け後は定期的にガッツキや緩みが無いか点検を行ってください。●走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ点検を行ってください。●取り付け作業前には必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してください。ショートによる感電や車両火災の原因になります。●感電や車両火災の原因になりますので、取り付け中は第三者が触れない場所で作業してください。●本体や配線コードなどが車両に当たる場合は、事前に市販のプロテクターシート(モトフィズプロテクターシート:別売り)等でその部分を保護する事をお勧めします。●配線コードなどがエンジン・マフラー・排気煙等、車体の熱くなる部分には触れる事の無い様に装着してください。

⚠ 使用上の注意

●法定速度以上での使用はお控えください。本体取付ステーが緩む場合があります。走行前には緩みが無いか必ずチェックし、常に適切な装着状態で使用してください。●本製品をメーターの代わりとして使用しないでください。重大な事故及び破損の原因になります。●走行中は操作しないでください。必ず停車させて周囲の安全を確認してから操作してください。●分解しないでください。●林道や砂利道などの荒れた路面では振動でステーが緩む恐れがあります。路面の状況やスピードに充分注意して走行してください。●仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。●取扱説明書に書かれている指示及び警告に従わない誤ったご使用により損害が発生した場合、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。



タナックス株式会社

千葉県流山市おおたかの森西 3-5-7 〒270-0128
TEL : 04-7150-2450

TANAX CORPORATION

3-5-7, OTAKANOMORINISHI, NAGAREYAMA-SHI, CHIBA
270-0128 JAPAN TEL. +81-4-7150-2450

TANAX WEB サイトへ
簡単アクセス!
<https://www.tanax.co.jp>



TY1014042